

病虫害発生予察情報(飛驒地域) 7月予報

【 水 稻 】

いもち病(葉いもち)

BLASTAM(アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件判定システム)によると、6月上旬以降感染好適日が確認されています(表参照)。6月下旬調査では発病は認められませんでした。感染好適日出現から5~10日後に発病が認められるようになるため、今後の発生状況に注意してください。

斑点米カメムシ類

予察灯への誘殺数が多く推移しているほか、1か月予報では降水量が平年並~少ないと予想されているため、今後多発すると予想されます。出穂2週間前までに畦畔等周辺の草刈りを行い、カメムシ類を水田に近づけないようにしましょう。

【 野 菜 】

トマト灰色かび病

一部ほ場で発病が認められます。1か月予報では降水量が平年並~少ないと予想されていますが、曇天や降雨が続くと花がらや葉先枯れから発病します。ほ場をよく観察し、これらの部位は見つけ次第除去するとともに、予防剤によるローテーション防除を実施してください。

【 果 樹 】

果樹カメムシ類

予察灯への誘殺数はやや少なく推移していますが、気温の上昇に伴い、今後発生量が増加すると思われます。夜間の気温や湿度が高いとほ場へ突発的に飛来するため、ほ場内をよく観察し、発生が認められたら薬剤防除を実施してください。

○主な病虫害の発生状況及び今後の予測(7月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水 稲	生育(高山市)	並							(生育はコシヒカリ)
	葉 い も ち	やや少			<発生最盛期>				葉いもち
	紋 枯 病	やや少	<初発生>						BLASTAM発病好適条件(防除所HPで公開)の5～10日後に発病する。発生しやすい地域では防除を徹底する。
	斑点米カメムシ類	多	< 畦 畔 雑 草 に 発 生 (7 月 ～) >						斑点米カメムシ類
	防 除 適 期		▲← 葉いもち(初発前) →▲ ▲← 紋枯病(穂ばらみ～出穂期) →▲ ▲ 一斉草刈り ▲ (7/10～20)						一斉草刈り実施期間(7/10～20)に草刈りを実施する。

ホ ウ レ ン ソ ウ	べ と 病	並	< 連 続 発 生 >						べと病
	防 除 適 期		▲←べと病(感受性品種、防除)→▲						感受性品種では梅雨明けごろまで発病に好適な時期になるため、薬剤による防除を必ず行う。
ト マ ト	灰色かび病	並	<発生盛期>						灰色かび病
	防 除 適 期		▲← 灰色かび病 (予防剤の散布、ローテーション防除) →▲						多発してからの防除は困難なため、ハウス内をよく観察し、花がらや葉先枯れは速やかに除去するとともに、予防剤を散布する。耐性菌が発生しないようにローテーション防除を実施する。
野 菜 全 般	コ ナ ガ	少	< 連 続 発 生 >						コナガ
	アブラムシ類	並	< 連 続 発 生 >						薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避ける。
	防 除 適 期		▲← コナガ(ローテーション防除) →▲ ▲← アブラムシ類(防除) →▲						アブラムシ類 高温乾燥が続くと多発する。ウイルス病を伝染するので防虫ネット・シルバーマルチで飛来を抑制する。

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
果	生育(高山市)	早							(生育はモモ)
	シンクイムシ類 (特にナシヒメシンクイ)	少		第2世代 ＜幼虫最盛期＞					シンクイムシ類 心折れ枝の多かった圃場では、果実への食入に注意する。
	カメムシ類	並	＜ 越 冬 世 代 成 虫 ・ 新 世 代 成 虫 ＞						カメムシ類 夜間の気温や湿度が高いと突発的に飛来するため注意する。
	せん孔細菌病(モモ)	多	＜ 感 染 拡 大 期 ＞						
樹	防 除 適 期		▲ シンクイムシ類(防除) ▲ ▲← カメムシ類(果樹園飛来時) →▲ ▲← モモ せん孔細菌病 →▲						せん孔細菌病 発病が確認された園では、本病に登録がある薬剤を選んで防除を行う。

注) ▲、▲←→▲ : 防除適期

調査データ

表 平成30年6月のBLASTAMIによるもち病の発病条件

日付	萩原	宮地 (下呂)	金山	高山	白川村	六厩 (荘川)	宮之前 (朝日)	河合	神岡	栃尾 (上宝)
6/1	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—
6/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/4	—	—	—	—	—	—	?	—	—	—
6/5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/6	△	△	●	△	—	○	△	—	◎	△
6/7	—	△	●	—	—	—	—	—	—	—
6/8	—	?	—	—	—	—	—	—	—	—
6/9	—	●	●	—	△	—	—	△	◎	—
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/11	—	—	—	—	—	◎	—	—	—	—
6/12	—	—	—	●	◎	△	△	◎	●	◎
6/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/16	—	—	●	○	○	○	○	—	○	○
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—
6/21	●	△	●	—	△	—	◎	—	—	◎
6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/24	—	—	—	●	—	○	—	○	●	○
6/25	—	—	—	—	?	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

凡例 △ : 準好適条件 (湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満)
▲ : 準好適条件 (湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上)
○ : 準好適条件 (湿潤時間10時間以上だが、湿潤期間の平均気温は15～25℃の範囲外)
◎ : 準好適条件 (湿潤期間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い)
● : 好適条件 (湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃ であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20℃～25 ℃の範囲にある)
— : 好適条件、準好適条件は満たされなかった

* 感染好適条件 (●) が現れると感染し、潜伏期間 (5～10日) を経て発病します。

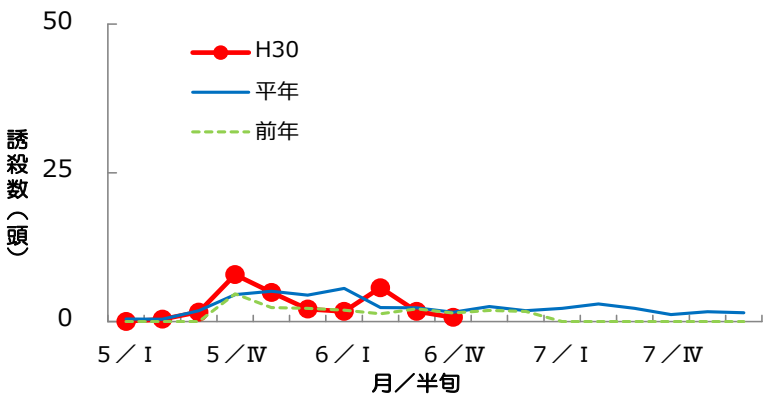


図3 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移 (高山市国府町)

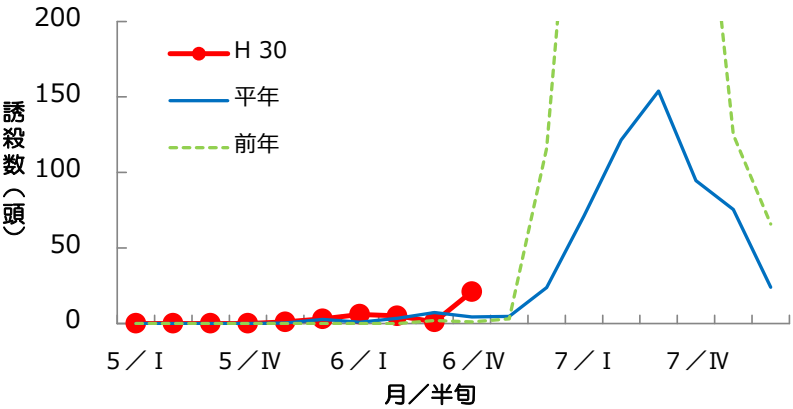


図1 予察灯による斑点米カメムシ類 (全種合算) 誘殺数の推移 (高山市国府町)

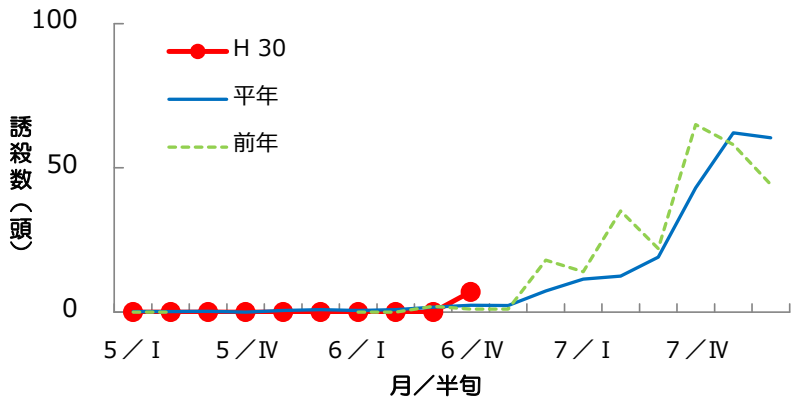


図2 予察灯による斑点米カメムシ類 (全種合算) 誘殺数の推移 (下呂市萩原町)

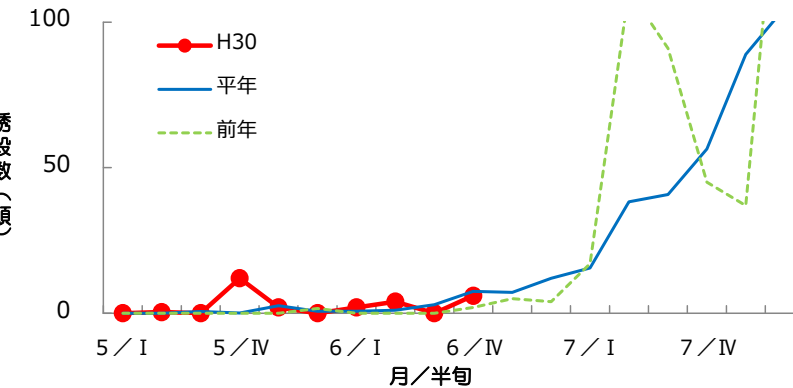


図4 予察灯による果樹カメムシ類 (全種合算) 誘殺数の推移 (高山市国府町)

6～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方 1 か月予報 (名古屋地方気象台 6月21日発表)

向こう 1 か月の気温は高く、降水量は平年並～少なく、日照時間は平年並～多いと予想されます。天気は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 TEL (0577) 33-1111(内線 245) FAX (0577) 34-2706